

技術力を次世代に継承

一般社団法人 全国さく井協会 第43回定時社員総会開く

(一社)全国さく井協会は6月30日、東京都中央区の鉄鋼会館で第43回定時社員総会を開催し、平成28年度事業報告、収支決算を承認し、平成29年度事業計画及び予算の報告があった。

総会の冒頭、挨拶した脇雅史会長は「最近気がかりなのは、昨年の税収が7年振りにマイナスになり、来年度予算にも影響する可能性があることだ。見通しは必ずしも明るくないが、仕事量の確保は大変重要だ。皆さんがこれまで培ってきた技術力を次の世代に継承していかなくてはならない。井戸の技術はなくしてはいけない。AIの時代になっても同じだ。新しい資格制度などを考え、皆で工夫しながら将来に繋げるよう、会員の皆さんと力を合わせ、頑張っていきたい」と結束と協力を要請した。



挨拶する脇雅史会長

平成29年度事業計画では、会員増による組織の充実と前年度に立ち上げた各委員会の具体的な活動内容が発表された。特に平成28年熊本地震を受けて、井戸被害調査の実施と防

災井戸を進めるために、水井戸のデータベース化のスピードアップを図ること、井戸・地下水に関する計画・調査・設計分野に携わる専門技術者の新資格創設に向けた取り組みなどが述べられた。

また、11月10日広島市内で行う予定の「いい井戸の日2017 in 中国」では、一般の人も参加できる講習会・セミナー開催の企画等、準備が進められている。



議長を務める知久明副会長

今年度は役員改選が行われ、協雅史会長、知久明中央支部長が副会長・会長代行に再選された。新たな副会長に田中良昭近畿支部長、岡田宏中国支部長の両氏が就いた。再選された協雅史会長は「皆さんの協力で2年間務めていく。協会発展のため、全力を尽くしていきたい」と決意を述べた。



新しい理事・監事の紹介と挨拶する協雅史会長

総会終了後、90名を超える参加で懇親会が開かれ、知久明副会長が挨拶をし、田中良昭副会長の乾杯発声で歓談に入った。締めは、岡田宏副会長の音頭で三本締め、広島市での再会を期してお開きとした。



乾杯の発声は田中良昭副会長



「11月10日は広島で」と懇親会を締める
岡田宏副会長